

事業実績書

| | |
|-----|-------------------------|
| 団体名 | 鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会) |
|-----|-------------------------|

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、人に優しい、活力あるまち「鑄銭司」を目指します。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

| | | | | |
|---|-----|----------------------------|-----|-----------|
| ① | 視点 | 地区民全員が気軽に参加できる行事の推進 | | |
| | 事業名 | 地域振興・交流事業 | 決算額 | 478, 897円 |
| ② | 視点 | 文化財、史跡をわかりやすく巡ることができる環境づくり | | |
| | 事業名 | 地域資源PR事業 | 決算額 | 315, 208円 |
| ③ | 視点 | 郷土の偉人「大村益次郎」の功績を顕彰 | | |
| | 事業名 | 大村益次郎没後150年記念事業 | 決算額 | 184, 330円 |

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

| 検証(成果、来年度以降への改善点等) | 自己評価 |
|---|------|
| ①地域内の活性化を目的とした地域行事への支援、三世代交流事業や単位自治会長情報交換会を開催し、世代間の連携や情報の共有化、また、地区内の住民どうしが交流を深める活動をおこなった。来年度以降も行事への支援及び実施を積極的に取り組んでいく。 | ○ |
| ②ディスプレイネーションキャンペーンの支援として、大村益次郎の史跡を巡る古地図散歩のボランティアガイドを行った。また、大村益次郎没後150年を記念して鑄銭司地域内外の幼稚園、小中学生、高校生、一般を対象にした「益次郎さんへの手紙」を実施し286通の応募があり、大変盛り上がった。 | ○ |
| ③大村益次郎没後150年記念事業実行委員会による没後150年を記念した講演会開催し、300人収容の会場が満席になるほどの盛況ぶりであった。30年度も鑄銭司の魅力を全国に発信する活動を推進していく。 | ○ |

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第2次地域づくり5カ年計画の3年目であり、風鎮祭など、第1次計画からの継続事業については順調に実施することができた。新規事業においては、地域資源PR事業として、「益次郎さんへの手紙」を地域内外に展開し大盛況であった。地域福祉分野では4年ぶりに「高齢者向け出前サービス店舗・事業所のご案内」パンフレットを更新、配付し、高齢者が日頃困っている事の支援につなげていく取組ができた。

5 事業内容

(1) 協議会運営

| | |
|----------|--|
| 事業費 | 4, 220, 720円 |
| 事務局の運営体制 | <p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 事務局長1名、事務局員2名で協力して業務にあたり着実に事務局運営を行うことができた。</p> <p>(今後に向けて) 前年より更に業務量が増加しており、各部会が行う事業の削減に向けた見直しや簡素化に取り組む必要がある。</p> |

(2) 地域振興

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域情報発信事業 |
| 事業費 | 118, 760円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容) ①広報誌発行 ②ホームページの内容充実</p> <p>(実施時期) ①通年 ②通年</p> <p>(参加人数) ①780世帯・企業50社</p> <p>(成果) ①自治会通信11回発行・自治会報(総会報告書)1回発行 ②ホームページへの自治会通信アップロード(11回)</p> <p>(評価) 広報誌やホームページを活用して、地域づくりに関する活動内容を地区民に周知してもらえ、協力も得られた。</p> <p>(今後に向けて) 分かりやすく、読んでもらえる広報誌作成のため写真などの情報収集や勉強会等にも積極的に参加する。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域振興・交流事業 |
| 事業費 | 478, 897円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②単位自治長情報交換会の開催 ③地区と企業との交流事業開催</p> <p>(実施時期) ①11月 ②7月 ③1月</p> <p>(参加人数) ①800人 ②26人 ③72人</p> <p>(成果) ①地区最大のイベントである、ふるさとまつりを開催し、地元企業と地区民相互の交流が図れた。また、祭りの中で地域功労者7名と1団体を表彰した。中山間事業の一環として県大生による益次郎豆腐を使った料理をふるまった。 ②避難勧告が発令された際、各単位自治会内の住民にどのように対応するのかや、日々の防災活動について意見交換を行った。 ③新年互例会を開催し、講話「大村益次郎」や企業・団体紹介などで、大いに盛り上がった。</p> <p>(評価) ①まつりで功労者や団体を広く紹介し労うことができた。また、県大生による益次郎豆腐を使った豚鍋や湯豆腐を振舞い、若者と地域住民の交流の場を設けることができた。 ②自主防災組織が作れていない単位自治会に、防災出前講座による説明を受けてみようという動きが出てきて良かった。 ③地域内企業と地域住民との交流事業が継続出来ており、地域づくり活動への理解と協力が得やすくなる。</p> <p>(今後に向けて) ①地域づくりに貢献された個人・団体の表彰を続けていく。 ②単位自治会の持続的運営強化の為、単位自治会長情報交換会を継続する。 ③地域内企業と地域住民との交流事業を継続するとともに参加企業の拡大を図る。</p> |

(3) 地域福祉

| | |
|------|---|
| 事業名 | 教育・福祉関係事業 |
| 事業費 | 150, 283円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)①高齢者向け情報発信の見直し ②子どもの自立支援(三世代交流事業・子育ての集い)</p> <p>(実施時期)①3月 ②通年</p> <p>(参加人数)【①300人 ②120人】</p> <p>(成果)①「高齢者向け出前サービス店舗・事業所のご案内」パンフレットを4年ぶりに更新し高齢世帯に配付した ②子育てに関わる幅広い年齢層の参加者があり、就学前の子育てのポイントを体験学習した。近郊の施設(秋穂コミュニティーセンター、秋穂二島あそぼう家)に視察研修に行き、鑄銭司地域での実施の参考になった。</p> <p>(評価)①高齢者の日常生活における悩みや困り事を、安心して地元の業者に相談できるパンフレットを完成させた。 ②子育てについて自分のやり方を見直すことが出来たと好評であった。</p> <p>(今後に向けて)①継続実施しながらキメ細かいサービス内容を充実させていく。 ②山口市子ども家庭課との意見交換ができた。今後も関係機関と連携して子どもの健全育成に向けた活動を推進する。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 健康づくり事業 |
| 事業費 | 0 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)①動脈硬化予防を目的としたウォーキングの推進 ②健康なまちづくりに向けた健康教室支援</p> <p>(実施時期)①6月、10月 ②8月</p> <p>(参加人数)①6月18人、10月21人 ②230人</p> <p>(成果)①花ウォークでは花を楽しみながら坂道を歩いて、心身ともに健康な気持ちになれた。 ②ラジオ体操支援では子ども、保護者、地域住民、学校関係者全員でラジオ体操や</p> <p>(評価)①花ウォークは花を楽しみながらウォーキングができる利点があり、人気のイベントとなっている。 ②ラジオ体操支援では、小学生からお年寄りまで誰でも参加でき、体操後の草取り作業指導など、お年寄りと子供の交流が図れた。</p> <p>(今後に向けて)①楽しくウォーキングが出来るイベントとして定着しているので、新たな企画を入れながら継続していく。 ②お年寄りと子供の交流の場として、今後も継続していく。</p> |

(4) 安心・安全

| | |
|------|---|
| 事業名 | 防犯対策推進事業 |
| 事業費 | 189, 302円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)詐欺防止及び啓発活動</p> <p>(実施時期)7月</p> <p>(参加人数)780世帯</p> <p>(成果)特殊詐欺防止DMを鑄銭司地区全戸に配達し啓蒙活動を展開した。</p> <p>(評価)特殊詐欺防止活動を継続的に進めてきた結果、地区内の詐欺被害者は発生なし。</p> <p>(今後に向けて)引き続き詐欺被害防止び防犯啓発看板設置など、地域をあげて防犯活動に取り組んでいく。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 防災活動推進事業 |
| 事業費 | 32, 214円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)①防災リーダー育成学習会の開催(防災講演会) ②防災訓練の実施 (実施時期)①12月 ②3月 (参加人数)①32人 ②100人 (成果)①「もしもの災害に備えよう」というテーマについて、過去の災害や避難情報の入手等について学んだ。②要配慮者に対する避難支援の確認や炊き出し訓練。防災講演会等を実施。 (評価)実際に避難訓練を体験することで、情報伝達や避難経路や危険個所の把握、緊急持ち出し品の確認ができ、これまで以上に防災意識が高まった。 (今後に向けて)現在4地区で実施済み。今後1年間で5地区すべてで実施する。また、実際の災害に対応できるよう、訓練の精度を上げていく。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 交通安全推進事業 |
| 事業費 | 12, 000円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)秋の全国交通安全運動期間中に警察や交通安全協会と連携して、長沢ガーデン駐車場で交通安全マスコット等の配布を行った。 (実施時期)9月 (参加人数)100人 (成果)個人および地域のサークルの協力により製作した、毛糸タワシ、パッチワークのフクロウ、大村益次郎の缶バッチ75セットの交通安全マスコットを配布し交通事故防止に向けた取り組みを行った。 (評価)地域内を走行するドライバーや地域内の運送会社に交通安全マスコットを渡して安全運転を呼び掛け、交通事故防止の啓発が図れた。 (今後に向けて)平日に実施したため学生などが参加出来なかったため、次回は休日に行う。</p> |

(5)環境づくり

| | |
|------|---|
| 事業名 | 土木工事(法定外公共物) |
| 事業費 | 3, 709, 000円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。 (実施時期)通年 (成果)生活道路の舗装7件、農業用水路の改修1件 (評価)生活道路の改良及び老朽化した水路の改修が実施できた。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していく。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 環境美化運動 |
| 事業費 | 541, 072円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)①松島(弁天社)の整備、大平山の桜等の自然環境保全 ②地域一斉清掃活動の推進 ③芝桜の管理など花づくり活動の推進 (実施時期)①12月、2月 ②11月 ③9月、2月 (参加人数)①129人 ②100人 ③10人、120人</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>(成果)①松島に河津桜の苗木80本、大平山のふもとにフジバカマ100株植栽した。 ②通学路や歩道に延びた草木の伐採や放置されたゴミを軽トラ2台分撤去した。 ③長沢池の芝桜の整地と芝桜450株を補植した。</p> <p>(評価)①地域の子どもからお年寄までが参加して、河津桜やフジバカマの植栽を行い三世代交流が図れた。 ②環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ③春には桜と芝桜が咲き乱れ、地域の憩いの場となる。</p> <p>(今後に向けて) 鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえるよう、地域交流を図りながら、美化活動・花のある地域づくりを継続する。</p> |
|--|---|

(6) 地域個性創出

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域資源PR事業 |
| 事業費 | 315, 208円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容) 地域行事と大村益次郎活躍の地を載せた地域カレンダー制作 (実施時期) 3月 (参加人数) 780世帯 (成果) 地域行事の予定を記載したカレンダーを780世帯、53事業所、14施設に配布した。 (評価) 地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られ、同時に大村益次郎について若い世代に認識してもらえた。 (今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとなり、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。</p> |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 伝統文化の継承 |
| 事業費 | 237, 259円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容) ①風鎮祭「盆踊りの夕べ」開催 ②笠踊り伝承保存会支援 (実施時期) ①8月 ②9月～11月 (参加人数) ①305人 ②180人 (成果) ①地域団体の協力により、多くの参加者があり、地域住民の交流が図れた。 ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を単位自治会のお祭りや小学校運動会において披露し、伝承活動を継続した。 (評価) ①盆踊りの夕べを通じて世代間の交流が図れ、若年層に対しては地域づくり活動を理解してもらうきっかけとなった。 ②鑄銭司小学校の教員、生徒と練習会を開催するなど、伝承活動を継続実施した。 (今後に向けて) 笠踊りに接する機会を増やし、盆踊り等の交流の場を通じて、地域の貴重な伝統文化の継承を図る。</p> |

(6)特別事業

| | |
|------|--|
| 事業名 | 大村益次郎没後150年事業 |
| 事業費 | 184,330円 |
| 事業概要 | <p>(実施内容)講演会の開催</p> <p>(実施時期)3月</p> <p>(参加人数)314人</p> <p>(成果)郷土の偉人「大村益次郎」の功績を多くの人に顕彰することができた。</p> <p>(評価)平成30年10月には大村益次郎没後150年記念式典を予定しており、地域内外に広くPRすることができた。</p> <p>(今後に向けて)引き続き、大村益次郎の功績やゆかりの地を活用した地域づくりに取り組んでいく。</p> |